

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ベネッセ池上保育園
施設所在地	大田区池上3-13-4
法人名	株式会社ベネッセスタイルケア

1. 活動のテーマ

<テーマ>

一人ひとりの想いが認められ自己肯定感を重ねる表現活動

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

美術講師・陶芸家の荒井政光先生と共に絵画、粘土、陶芸、世田谷美術館アート鑑賞ろ様々な活動を楽しみ自分の想いを表出し認められ

自信と意欲に繋げいています。また、園では音楽家、バレリーナーなどと本物に触れる機会を多く持ち感性を育て豊かな心の育ちに繋がる活動を行っています。ひとりの作品を展示、掲示することで保護者や来園者からも声をかけられ褒められ自分が大切にされていることを感じ合る。

2. 活動スケジュール

- ①5/13 (火) 5歳 墨絵『墨でかいてみよう!』
- ②6/17(火) 4歳児 粘土『ねんどであそぼう』
- ③7/2(水) 3歳児 粘土『土粘土にふれてみよう』
- ④8/27 (水) 5歳児 折り紙と墨絵『どんなおはながさくのかな』
- ⑤9/16(火)4歳児 絵具とくれよん『みんなだいすきおべんとう』
- ⑥10/22(水) 5歳児 世田谷ワークショップ美術館どんなところ?『フロッタージュ』
- ⑦10/23(木)5歳児 世田谷美術館『アート鑑賞』
- ⑧10/29(水)5歳児 光と影くれよん『じぶんのかおってどんなかな』
- ⑨12/3(水)5歳児 陶芸『陶芸挑戦!』
- ⑩12/10(水)5歳児絵具とクレヨン『卒園アルバムづくり♪』

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

可動式製作棚・画板

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

様々な道具や子どもの興味関心がある題材から想像し自分の世界を表現し十分に認められ自信を持ち意欲的に活動に参加し自己肯定感を重ねていく。また、作品は大掲示、展示され保護者、来園者など他者から認められる自信を持ち自分の思いが大切にされていくことを感じれるようにしていきました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

<子どもの姿・保育者の関わり>

子どもの初めての活動で戸惑う姿も見られていたが、見ているだけでも参加していると子どもを認めその子のタイミングでの活動参加をしていくことで全員が参加しそのらしい活動につながっていきました。

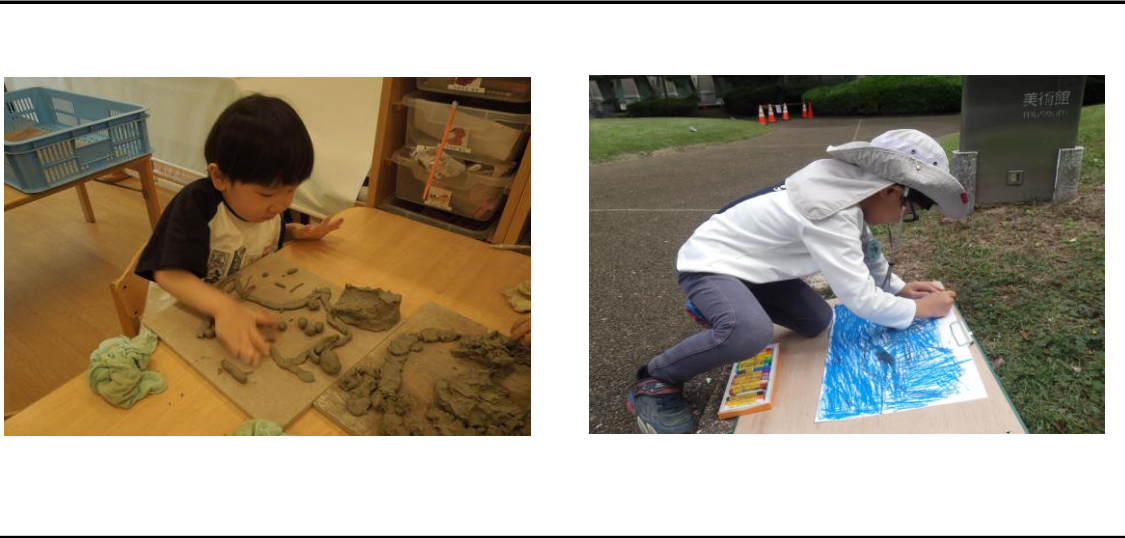
<子どもの声と関わり>

子どもの面白い、楽しい、笑い声が聞こえて他児と作品について「おもいろいね」「つなげよう!」「これもおもしろいよ」「逆さにみるとおもいろいよ」など子どもの感性が言葉となりその子らしい表現がなされて認め合う姿もみられていました。

<保護者・他者との関わり>

一人ひとりの作品は掲示、展示され保護者と子どもが語り合う姿、認められて嬉しそう姿が見られていました。また、園見学や来園者と共に自分の作品を自信を持ち紹介する姿も見られていました。

世田谷美術館ワークショップでは、当日の展示作品への興味関心が持てるようなフロッタージュ活動をし当日は自分の作品が美術館に展示されて喜びと自信にも繋がりました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども一人ひとりの活動タイミングを待ちながらやってみようと思うタイミングを待ちながら子どもの興味関心のある事柄をテーマにし保育者も一緒に楽しんで活動をしていくことでその子らしい作品、表現活動に繋がっていきました。また、子どもたちの作品が大切にされ掲示・展示され保護者の方や来園の方々に認めれる自信と意欲に繋がり自己肯定感に繋がったと感じています。

講師荒井政光先生の言葉かけや専門的な活動内容、設定は、保育者にとって保育の引きだしなり学びにも繋がっていきました。